

「令和2年度 あおもりの農山村フォトコンテスト」 入賞作品一覧

農山村の風景部門・テーマ「輝き」

各 賞	題 名	氏 名
最優秀賞	ホッと一息（三戸郡貝守）	蛇沼 洋一
優 秀 賞	里山の夕暮れ時（弘前市東目屋）	山内 雅人
〃	お田植まつり（平川市猿賀）	相馬 勉
優 良 賞	メロンのゆりかご（つがる市木造）	長尾 義彦
〃	新緑の里山（南部町長谷公園）	丹野 武次
〃	～祈り～実り～（田子町石亀）	極壇 優也
〃	夕日に映えて（おいらせ町一川目）	竹内 喜美子
青少年奨励賞	秋麗（むつ市城ヶ沢）	畠山 飛花里
〃	ただの空（五所川原市七ツ館）	藤田 栞吏
〃	何気ない風景（つがる市木造）	高校生

人々の暮らし部門・テーマ「希望」

各 賞	題 名	氏 名
最優秀賞	はだか参りの行列が通る（弘前市鬼沢）	成田 清一
優 秀 賞	ソーシャルディスタンスでメダカ取り（板柳町狐森）	工藤 順子
〃	いにしへの暮らし（八戸市根城）	白山 健悦
優 良 賞	里の秋（田舎館村垂柳遺跡）	相内 悦子
〃	早朝散歩（平内町内童子）	鹿内 秀雄
〃	共同作業（中泊町中里）	加藤 正一
〃	大地に春を呼ぶ（南部町剣吉）	丹野 武次
青少年奨励賞	おじいさんのとうもろこし美味しんだよ（東通村）	新山 彩葉

～ 農山村の風景部門 ～

最優秀賞 ホット一息（三戸郡貝守）／ 蛇沼 洋一



【講評】水を張った田んぼに、山と木々の緑が逆さに写り、まるで鏡のようです。田植えが終わって間もない時期に、風のない、穏やかな日だから見えた現象です。鮮やかさを増す新緑が季節の移り変わりを伝えています。手前の水田を広く取り、地平線をやや上にずらしたことで構図に安定感と奥行きが出ました。山の中腹に立ち込める霧がゆったりとした時の流れを感じさせてくれます。

優秀賞 里山の夕暮れ時（弘前市東目屋）／ 山内 雅人



【講評】夕暮れ時の太陽が、空や岩木山をオレンジに染めながら、ゆっくりと姿を消そうとしています。夕日に照らされ、刻々と色を変える町並み。手前の緑と、コントラストが鮮やかです。ドラマチックな1日の終わりを見るようです。

優秀賞 お田植まつり（平川市猿賀）／ 相馬 勉



【講評】 白装束の田男、早乙女と神職がゆっくりとあぜ道を進んで行きます。猿賀神社で続く春の伝統行事の1コマです。残雪の岩木山に見守られ、長く受け継がれてきた豊作祈願。快晴の空が田んぼの水も青く染めています。

優良賞 メロンのゆりかご（つがる市木造）／ 長尾 義彦



【講評】 好天の下、どこまでも続くメロン畑。太陽の光を浴びてビニールトンネルが銀色に輝いています。青空に浮かぶ白い雲の躍動感が岩木山を包み込むようです。

優良賞 新緑の里山（南部町長谷公園）／ 丹野 武次



【講評】 高い位置から撮影したため、近景（家並み）、中景（森の緑）、遠景（残雪の八甲田）と奥の深い作品に仕上がりました。春、早春、冬と季節が同居して見えます。

優良賞 ～祈り～実り～（田子町石亀）／ 極壇 優也



【講評】 黄色に色づく田んぼの真ん中にぽつんと立つ社（やしろ）。ご神木の形がユニークです。社と木をあえてドンと真ん中に置いたことで、印象的な作品に仕上がりました。

優良賞 夕日に映えて（おいらせ町一川目）／ 竹内 喜美子



【講評】ビニールトンネルにともるオレンジの明かり…何とも不思議な光景です。実はビニールが夕日に反射しているだけだそうです。シンプルな構図が、かえって、この作品の魅力を引き立てています。

青少年奨励賞 秋麗（むつ市城ヶ沢）／ 畠山 飛花里



【講評】木の切り株のようなところに、ちょこんと乗ったクリ。あえて逆光で撮影したことで、日差しを強調し、まさに「秋うらら（秋麗）」の雰囲気になりました。

青少年奨励賞 ただの空（五所川原市七ツ館）／ 藤田 栞吏



【講評】 すじ雲が下から上へ湧き上がっていくように見えます。下に並んだ鉄塔が雲につられてダンスをしているようで、何ともユーモラスです。

青少年奨励賞 何気ない風景（つがる市木造）／ 高校生



【講評】 田んぼに止まった1台の軽トラ。空には雲がもくもくと湧き出ています。さりげない日常から、この部分を切り取って、作品に仕上げたセンスが光ります。

～ 人々の暮らし部門 ～

最優秀賞 はだか参りの行列が通る（弘前市鬼沢）／ 成田 清一



【講評】ふんどし姿でしめ縄を担ぐ男衆の行列と、防寒具を着込み、もの珍しそうに見詰める子どもたちの表情が対照的です。直前まで雪が降っていたのでしょうか。道路わきに残った白い雪が厳しい寒さを伝えています。子どもたちが陣取った、この一角を撮影地点に選んだことが成功しました。周りの蔵や松がこの地区の歴史を伝えています。

優秀賞 ソーシャルディスタンスでメダカ取り（板柳町狐森）／ 工藤 順子



【講評】メダカにドジョウ、フナ…。昔はこうやって田んぼで遊んだものです。最近、見掛けることが少なくなりました。子どもたちの「遊び」をバランスよく作品にまとめました。さりげない日常の1コマを記録する。写真の重要な役割です。

優秀賞 いにしへの暮らし（八戸市根城）／ 白山 健悦



【講評】超広角レンズを使い、青空を大胆に取り込みました。えんぶりに登場した子どもたちのはつらつとした表情が印象的です。大地をしっかりと踏みしめ、子どもたちが発する声は正に春を呼び込むようです。

優良賞 里の秋（田舎館村垂柳遺跡）／ 相内 悦子



【講評】実りの秋に刈り取りが終わった田んぼとずらり並んだ棒掛けの列。手前ではコスモスが風に揺れています。列車や自転車の男性が行き交い、日差しがたっぷり降り注いでいても、深まりゆく秋を感じる1枚です。

優良賞 早朝散歩（平内町内童子）／ 鹿内 秀雄



【講評】木々が赤く色づき、足早に通り過ぎる女性の息づかいが聞こえてきそうです。逆光で撮影したことで、早朝のひんやりとした空気感が伝わってきます。

優良賞 共同作業（中泊町中里）／ 加藤 正一



【講評】人々の配置から、ニンニクのは種作業の忙しさが伝わってきます。ビニールシートが白く輝いて見えますが、右上を黒く開けたことで画面を引き締めています。

優良賞 大地に春を呼ぶ（南部町剣吉）／ 丹野 武次



【講評】 勇壮に舞う太夫と囃むえんぶり組の面々。太夫が大地を摺（す）るたび春が近づいてくるようです。周りを囃む観衆から、祭りの熱気が伝わってきます。

青少年奨励賞 おじいさんのとうもろこし美味しんだよ（東通村）／ 新山 彩葉



【講評】 おじいちゃんの畑でトウモロコシの収穫を手伝っているのでしょうか。ややはにかんだ表情から収穫の喜びが伝わってきます。